

予約不要

文理融合公開シンポジウム

参加無料



中山間地における 森林の持続的管理・利用とは？

開催要領

4月から「森林経営管理法」が新たに施行され、これをきっかけに様々な議論が始まっています。東広島市においては、バイオマス産業都市構想で森林利用が想定されるとともに、今年の豪雨災害で大規模な斜面崩壊と流木で広く森林を喪失したことも踏まえ、身近な中山間地の森林管理について多角的な視野で考える必要があります。そこで、本課題をめぐって、文理融合を軸とする環境平和学的な議論を行います。

司会

小野寺 真一（広島大学大学院総合科学研究科）

スピーカー

山田 俊弘（広島大学大学院統合生命科学研究科）

森の恵みはタダなのか？：生態系サービスへの支払いの意義と課題

福田 恵（広島大学大学院総合科学研究科）

山は誰のものか？：森林管理問題の歴史と現状

コメンテーター

杉木 恒彦（広島大学大学院総合科学研究科）

宮園 健吾（広島大学大学院総合科学研究科）



会場 広島大学 総合科学部 K209教室

日時 7月18日(木) 16:20~17:50

主催 21世紀科学プロジェクト群環境平和学プロジェクト
共催 環境科学共同セミナー&資源エネルギープロジェクト

(お問い合わせ:082-424-6496 小野寺)